

平成27年4月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時	平成27年4月23日(木) 午後3時00分		
場 所	市庁本館3階 議会第1委員会室		
委員氏名	委員長	築 瀬	眞知雄
	委員長職務代行者	大 庭	文 武
	委員	岡 本	潤 子
	委員	武 輪	節 子
	教育長	伊 藤	博 章
事務局員職氏名	教育部長	佐 藤	浩 志
	教育部次長兼教育総務課長	野 田	祐 子
	教育部次長	齋 藤	信 哉
	図書館長	藤 田	俊 雄
	学校教育課長	小笠原	徹
	教育指導課長	木 村	一 夫
	社会教育課長	田 中	勉
	是川縄文館副館長	清 川	定 吉
	総合教育センター所長	原	寿
	博物館副館長	古 里	淳
	教育総務課参事	尾 崎	雅 祥
	学校教育課参事	茨 島	隆
	北地区給食センター所長	外 館	一 良
	東地区給食センター所長	中 里	親 弘
	西地区給食センター所長	清 川	彦 一
	是川縄文館参事	宇 部	則 保
	是川縄文館参事	村 木	淳

築瀬委員長	<p>ただいまから、平成 27 年 4 月の教育委員会定例会を開会いたします。</p> <p>本日の議事録署名は岡本委員を指定いたします。</p> <p>それでは教育長から、主な会議・行事等について説明をお願いいたします。</p>
伊藤教育長	(資料に基づき説明)
築瀬委員長	<p>ただいまの説明につきまして、ご質問などありましたらお願いいたします。</p> <p>(質疑なし)</p>
築瀬委員長	<p>無いようですので、これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議いたします。議案第 38 号「八戸市社会教育委員の委嘱について」事務局からの説明をお願いします。</p>
田中社会教育課長	(議案第 38 号「八戸市社会教育委員の委嘱について」に基づき説明)
築瀬委員長	ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。
築瀬委員長	<p>それでは、議案第 38 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
築瀬委員長	ご異議がありませんので、議案第 38 号を原案のとおり決定いたします。
築瀬委員長	次に議案第 39 号「八戸市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定について」事務局からの説明をお願いします。
小笠原学校教育課長	(議案第 39 号「八戸市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定について」に基づき説明)
築瀬委員長	ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。
築瀬委員長	<p>それでは、議案第 38 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>

<p>築瀬委員長</p>	<p>ご異議がありませんので、議案第 38 号を原案のとおり決定いたします。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>以上で議案の審議は終わりました。 次に報告事項にまいります。 はじめに、「平成 26 年度第 4 四半期の業務報告について」は、事前に資料が配布されておりますので、委員の皆さんから質問がありましたら、お願いいたします。</p>
<p>武輪委員</p>	<p>3 ページ目の学校施設グループの 3 番の (3) 番、八戸市避難施設再生可能エネルギー等導入事業についてお伺いします。この導入事業は現在公民館等でも行われている、この再生可能エネルギー等導入事業と同じく、太陽光パネルの設置ということでしょうか。</p>
<p>尾崎教育総務課参事</p>	<p>教育総務課尾崎と申します。よろしくお願いたします。 これは公民館と同じ工事の内容でありまして、太陽光パネルと蓄電池と体育館の校舎照明などを導入する事業であります。</p>
<p>武輪委員</p>	<p>そうしますとこちらは、私の勉強不足かもしれませんが、小学校としては他にもこの再生可能エネルギー等導入事業というものは行われているのでしょうか。この多賀、田面木、島守地区が対象ですか。</p>
<p>尾崎教育総務課参事</p>	<p>ちょっと資料のほうを確認してみます。</p>
<p>野田次長 兼教育総務課長</p>	<p>では私のほうから。既に実施されている学校はございまして、全校で 12 校の事業計画となっております。その内 25 年度に城北小学校、そして第三中学校、第二中学校、南浜、明治、中沢中学校と、島守小学校が 26 年度に工事が済んでございます。今年度はこれから 5 校を実施するという事です。以上でございませぬ。</p>
<p>武輪委員</p>	<p>はい。公民館と同じくこの小学校、学校等も避難施設という形で、何かがあったときにはそういう形で、停電等のときのためにそのような形で供用できるということで進められているということで安心をいたしました。</p>
<p>大庭委員</p>	<p>少しページが飛びますけれども、14 ページの総合教育センター関連のところです。新しくこども支援センター等もスタートしました。その中で 14 ページのその他のところで質問です。その他のぽつの二つ目です。そのうち教育センターの</p>

	<p>カウンセリングは44時間、緊急対応は22時間と。この緊急対応というものは具体的にどのような中身を含んでいるのでしょうか。</p>
<p>中奥子ども支援センター指導主事</p>	<p>子ども支援センター中奥です。どうぞよろしくお願いいたします。緊急対応は臨床心理士によるもので、学校の要請に応じて学校に出向いたり、あとは学校の要請で教育支援センター内のカウンセリングルームで保育者や、児童生徒に対する対応をいたします。学校はいろいろな事件、事故等がありまして、それで心に関する重要相談等に対応しております。具体的などは話せないのですけれども。</p>
<p>大庭委員</p>	<p>わかります。公表できない部分ですので。緊急対応というものはどのような中身なのかがわからなかったものですから。</p>
<p>中奥子ども支援センター指導主事</p>	<p>例えば中学生で他生徒への不適切な接し方があるって、その不適切な接し方に対して、その被害を受けた生徒への心のケアを行ったり、保護者の自殺未遂等がありまして、その心のケアに。保護者にも、生徒自身にも対応するというような、そういう中で緊急事案に対応しています。以上です。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>関連して私からですが、よろしいでしょうか。今のページで同じところの8番の教育相談・適応指導教室事業の、私はその上の二つです。お聞きしたいのは、ここに1から3月の相談状況で全相談回数584回とあります。この全相談回数の584回というものは1月から3月の全相談回数ですか。それとも通年ですか。</p>
<p>中奥子ども支援センター指導主事</p>	<p>1月から3月の全相談回数ということになっております。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>そうですか。そうするとその下に矢印が付いている26年度の1から3月は246回とあるのは、これは26年度ではなくて、26年の1月から3月ですか。</p>
<p>中奥子ども支援センター指導主事</p>	<p>そうです。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>26年度となれば今の1月から3月になるので。わかりました。それで矛盾がないので。</p>
<p>中奥子ども支援センター指導主事</p>	<p>大変申し訳ございません。</p>

<p>築瀬委員長</p>	<p>もう一つ、そうすればここにはないので聞きたいのですが、1月から3月だけではなくて、26年度。1年間の相談回数というものは何回になるか、今わかりますか。</p>
<p>中奥子ども支援センター指導主事</p>	<p>26年度の全相談回数でよろしいですか。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>はい。</p>
<p>中奥子ども支援センター指導主事</p>	<p>26年度の全相談回数は1,999回です。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>1,999回ですか。はい、ありがとうございます。そのことを聞いたのは、私にある記憶では、その前の25年度が報告では1,295回となっているのです。ここの1月から3月だけを見ても2倍以上ですよ、簡単にいえば前年度の。通年でどれくらいかと思っていま聞いたのですが、やはり700回以上多い回数になりますよね、26年度は。つまりそれだけ非常に相談回数が多くて、悩める子どもとか、悩める親、それからもう一つ忘れてはいけないことは悩める教師が増えているという証拠だと思っ、非常にこの相談回数に対応するのにご苦労なさっているのではないかと思っ、いまお聞きしました。</p> <p>それからその下の適応指導教室のところも、ここは一つ目のぼちのところは、矢印の次は、ここは平成26年度だと思うのですが、1年間で61名なのですよ、きっと。平成26年度の全通室生は61名。</p>
<p>中奥子ども支援センター指導主事</p>	<p>そうです。全通室生が1年間で61名ということになります。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>それで25年度の報告を受けたときには46名だったと思うのですけれども、それでいいのですか。</p>
<p>中奥子ども支援センター指導主事</p>	<p>はい。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>そのように、やはり15名も増えているということで、やはり悩める子どもさんが多くなっているということがわかりました。そういう意味でも、次の事業計画にも出てくるのですが、この4月に子ども支援センターが開設されて、メンバ</p>

<p>築瀬委員長</p>	<p>一の強化もされました。それから事業も三つに分けられて、あとは学校教育課の今までの担当が入るとか、そういった窓口の一本化とともに、相談体制の強化が図られていく必要がある。現状に対して適切なこども支援センターの開設だったということを感じているわけです。このような非常に多くの相談を受けてきているということについては、大変ご苦勞なことなのではございますけれども、それだけ市民が期待をしているということだと思っておりますので、やはりその相談に対応していく形でこども支援センターができて、職員も増えて。多分まだ職員が足りないと思っておりますけれども、是非この辺についてはこども支援センターを中心に頑張っていたきたいと思います。いま質問しました。</p> <p>それから私たち教育委員も含め、子ども支援はこども支援センターに任せるということではなくて、やはり教育委員会全体、あるいは市長部局と連携した取り組みをこれからもする必要があるのでこの回数とか、人数を聞きました。ありがとうございます。</p> <p>ほかに、いいですか。では武輪委員。</p>
<p>武輪委員</p>	<p>戻りますが、6ページの教育指導課の3番、地域密着型教育推進事業についてお伺いします。こちらに関しては定例会でもよく話題に上がるものですが、今年度も成果と課題ということで、私たち教育委員も実践報告集を頂戴しました。今年度は特に報告集が厚いような気がしたのですが、この地域密着型教育ということで、八戸市はこの事業を始めてから年数が経っております。それぞれ成果、課題というものが上がっております。成果について新たないい面も出てきていると、報告集を拝見しました。ただその中でも課題というところでは、コーディネーターや、ボランティアの方々が継続できなくて、次の方を探すのに苦勞されているとか、昨年と同様なことができにくくあるという課題も上がっているような気がいたします。教育委員会として、この地域密着型教育推進事業にこのまま昨年と同様という形だけでなく、教育委員会として何かしら同じ形というか、継続も含めて衰退していかないような何かの手立てというか、これからまたさらに盛り上げていくための策というか、何かあればお伺いしたいと思っております。</p>
<p>木村教育指導課長</p>	<p>全小中学校がこの事業に取り組んでから、今年度が3年目にあたります。地域連携協議会という組織については全部の学校で3回ずつ開いて、軌道には乗ってきました。今年度はいわゆるこれまでのことを継続、それから推進するのみではなくて、それぞれの学校で成果が出てきていますので、それを実際に保護者、地域の方にこのようなことがありましたというように返し、それから学校としてもまたさらにこのようなことを地域にお返しできます。今まではやってもらうことも多かったのですが、そのような形で返していくことと合わせて、3回しか開かれな</p>

大庭委員	い協議会ですから、中身を充実させるために進行にあたる委員長さんとも事前に綿密に打ち合わせとか、それから全員が共通の課題に取り組んで、具体的なことに絞って話し合いが行われるような組織づくりを学校にお願いしております。それにつきまして、運営にあたっては担当に指導主事もいますので、できるだけ密に関わって、さらに学校の支援を続けていきたいと思っております。以上です。
武輪委員	
築瀬委員長	<p>よろしいですか。それでは報告のほうは以上で終わりにさせていただきたいと思えます。何か後で思い出したらお話しください。</p> <p>次に平成 27 年度第 1 四半期の主な事業予定については、それも事前に配付しておりますので、委員の皆さんから質問、意見等がありましたらお願いいたします。</p> <p>では岡本委員、お願いします。</p>
岡本委員	<p>それでは子ども支援センターにお聞きします。これからいよいよ 4 月 9 日に除幕式がありまして、私は都合でお邪魔できなかったのですが、新聞等にも報道していただきまして、市民の皆様にもこの子ども支援センターということが伝わっているかと思うのです。4 月が始まって何か変化というか、そういうことでお感じになっていらっしゃることはありませんでしたらお聞きしたいと思えます。</p>
原子ども支援センター所長	<p>おかげさまでもちまして、4 月 1 日より子ども支援センターを開設いたしまして、9 日には除幕式を執り行ったところであります。</p> <p>その後、テレビ、新聞等で報道していただいたことで、やはり市民の方々、それから学校関係者から、特に先ほど申しましたけれども、三つの機能。相談、専門員、適応指導ということで、それぞれいろいろな機能を持っているということで問い合わせ、特にもいま適応ということでは小学校の 1 年生から 3 年生の下の学年のお子さんを対象にしたキッズというものがございますけれども、そのようなものについても関心を持たれて、気になるお子さんとか、発達障害等が考えられるお子さんについて、そちらの活用等について問い合わせ等があるところであります。</p> <p>今後子ども支援センターの機能を活かしまして、関係する市長部局の各課と連携して進めてまいりたいと思っております。以上です。</p>
岡本委員	<p>ありがとうございます。そういう反応があったということは、ある意味では嬉しい、なければならないほうが良いことには越したことはないのですが、反応があるということはやはり浸透していくという手始めで、とても良いことだと嬉</p>

しく思います。

それと先ほど委員長がおっしゃいましたように、やはり人員とか、増やせば増やただけやはりやるのがあって、どんどん増えていくのがこれからも予測されると思って、私自身はこれまで何年も増えていっていることはわかっております。増えていく中でこども支援センターがしっかりとした名称でできましたので、やはりそうならない手立てというか、そうならない手立ても一方で何かできないかということ私自身も考えるのですけれども、それは各関係課と連携しなくては、こども支援センターだけがしてもだめだということは思います。何かそういうことも啓蒙したり、啓発していくことができるように願っていることです。もう一つは小学校以上のその手立てと、やはりもっと下の段階の手立てが若干少し違うこともあるのではないかと日頃思っています。そういう研究等も支援センターが推進しながら、していただければ嬉しいということで、幼保小連携の事業のところ私以前お聞きしました。今後の方向性として、特別支援に関することを今年度もう少しやっていきたいと挙げていらっしゃるということをお聞きしておりますので、やはりそういった部分からも、その人の手立てが若干小学生以上の子どもと、幼児、乳幼児というものでは少し違いますので、そもそもそのあたりの研究も深めて、活かしてアドバイスをしていただいたりとか、それが市民の皆様にも伝わるようなことがあればいいと願っております。どうぞこれからもよろしく願いいたします。

築瀬委員長

はい、ありがとうございます。ほかの委員の方から。大庭委員、お願いします。

大庭委員

教育指導課に関連する4ページのところです。その4番目、教育研究指定事業というところに関してなのですが、そこで取り上げられている各小中学校のテーマ、主体的に学ぶ、あるいは自分から進んで学習に取り組む、それから主体的に学び合う、そしてそれが総合的に確かな学力というところにつながっていくのだと思います。そういう意味で、やはりこういう主体的に学習に取り組むというか、その意識付けから始まりまして、これはやはり重要な、大切なテーマだと思っております。そういうところでこれを研究指定事業に、もうなっていますので、その辺を今後も継続しながら取り組んでいただければいいと思っております。

質問になるのですが、少し前の報告のほうを見ますと、7ページなのですが、そのことに関連した項目で、7ページの1番上のところに出てまいります。指定校がこの報告の校と、この4ページの予定の校が同じ学校名で、何年目というところなのですが、同じなのです。そして7ページほうでは、これは報告として下記の6校を平成26年度の指定校に決定したと。そして予定のほうの4ページでは、そのまま同じ何年目が入っているのですが、これはどのよ

	うに理解すればよろしいのでしょうか。
木村教育指導課長	これは報告の7ページにあるほうが、1月に実施要項を配布して手を挙げてもらった結果、下記の6校を平成27年度の指定校と。
大庭委員	26が27ですか。
木村教育指導課長	はい。年度を間違えておりました、申し訳ありません。おそらくこの時点で27年度に指定して、それが予定のほうの4ページの内容へとつながっていきます。
大庭委員	はい、了解しました。それで、これについては何年間くらいが目処というものはあるのですか。
木村教育指導課長	これは最高を3年としております。
築瀬委員長	はい、ありがとうございます。武輪委員、よろしいですか。
武輪委員	7ページの21番です。八戸市防災教育副読本作成についてお伺いしたいと思います。こちらは今回の定例会の資料と一緒に、私たち教育委員にもこのような形で防災ノートというものをいただきました。いろいろ拝見させていただいて、大変素晴らしい、素敵な防災ノートができあがったと思っております。これを子どもたちが教室の中で、机の上で学習というか、学んで、それが最終的には何かあったとき、起こってはほしくないのですが、何か万が一あったときにこれが活かされるような、この防災ノートをやったということではなくて、それが何かのときに活かされるという、子どもたちがこれを学んだことによって行動できるという形になればいいと願っております。さらにはこの中に、どの学年もそうですが、保護者の皆様へという形でも書かれておまして、子どもだけでなく家庭に帰って、また家族とともにこの防災について話し合うきっかけをまた作っていただいたということで、学校から発信していただいて、家庭での防災教育ということ。さらには、これが地域の防災教育という形でつながっていったら良いのではないかと思っております。この中にそれぞれ目次のところに1年生とか、2年生などと学年が入っているのですが、これはあくまでも目安として学年が入っているのか。もしくは、例えば道徳のような形でここは1年生のときに学ぶもの、そして学んだら次という形で目安というよりは、この学年で学ぶものと定義しているのか、それともあくまでも目安で、流動的にほかの学年でもここをやってもいいということなのか。私からすると防災ノートですから、どこも大事なことなの

<p>沼館教育指導課指導 主事</p>	<p>ですけれども、やはり順序よくいかないとそこに進めないのか、どうかというところをお聞きしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>青少年グループの沼館です。防災ノートのほうを担当してまいりました。いま武輪委員からお話のあったように、目次のところにとりあえずまず学年を付けたのは、一応発達段階というものも作成委員のほうで考えました。ですが、あくまでもそれは目安ということで、学校の子供たちの実態とか、地域性にもよると思っています。緊急に早く、こっちのほうを教えるおかなければならないというところもあると思いますので、その辺は流動的に考えていただくということで、目安としての学年を付けさせていただきました。特に渡って、まず今1年目ですので、例えば中学生の子供たちは小学生の防災ノートを勉強していないわけです。一応作る時には小学生の段階でこれを勉強して、中学生ということで考えました。いまガバットというものでフォーラムというものがあります。学校の先生方がみんな見られるところがありますが、そこには3冊分のデータを入れておきまして、この間の月曜日に生徒指導の先生方にはそちらのほうを活用していただいて、もし子どもたちに今までの積み重ねがない場合にはそちらを活用していただくということでお知らせしました。以上でございます。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>いま武輪委員がおっしゃったことと重複することになりますが、八戸市のホームページにも掲載するということがあったので、このことは学校、先ほどおっしゃったような学校のみならず地域とか、そういった自主防災組織がどんどんできていますから、私は去年意見を言ったのです。そういうところでの活用もできるようにしてほしいと言ったことに対して、ホームページでの公開ということは具体的な手立てだと思っております。これはそのほかにホームページへどのように載せるとか、活用の手引きなどは載せないのですか、すいません。</p>
<p>沼館教育指導課指導 主事</p>	<p>載せる予定であります。今のところ簡単なものしかないのですけれども、後々できれば模範解答的なもので、できるだけ細かく追加資料等も載せていきたいと思って、随時更新するような形でやりたいと思っていました。</p> <p>昨年築瀬委員長からご指導いただきました、地区の自主防災会、そちらのほうには、ちょうど今日だったのですけれども、危機管理課の方と相談しまして6月9日にまた総会があるということで、その際に役員の方々へ配って、それぞれの地区の方にも見ていただいて、地域の方々からもアドバイスをもらうということで進めていきたいと考えております。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>わかりました。この前も言ったのですが、防災というものは学校だけではとてもあれなので、やはり地域と手を結んでやることに効果があるので、とても良い</p>

	<p>と思っております。これからもやはりこういった問題は学校だけではなくて、例えば自主防災会もあるし、地域学校連携協議会、いわゆる地域密着型教育の核にもなる場所ですので、そういったところでもこういうものができました。学校でも使います、地域でもどうぞという形で進めていただければとても良いと思って、期待して見ていたところです。若干ぱっと見て、ここはもう少しこうしたほうが良いというところはあったのですが、研究員制度の中で研究委員がそこを実践しながら見直していくと思いますので、是非そういった点も各学校に知らせていただければありがたいと思っています。よろしくお願いします。</p>
大庭委員	<p>いま二人の方からありましたけれども、私もこの防災ノートを実際にいただいて、良いものができたと思っています。これからいろいろまた訂正する、あるいは勉強して新たなものになっていくとは思いますが、今の時点で感想としては私が思ったのは、一つはやはりこういう分冊になっているということ。小学生の下学年、それから上学年、そして中学生と。おそらくこれは1冊にまとめてしまうと、1回どこかで使って隅のほうへやられてしまうということも考えられるわけですが、先ほどあったように成長段階に応じて作ってある。この分冊になっていることが一つ良いと思いました。</p> <p>それから次は書き込み式になっているということです。私もこれをいただいて、実際に小学生になったつもりで記入欄に書き込んでみたのですが、なるほどと思いながら、そういう意味でも生徒たちには使える教材になっているのではないかと思います。</p> <p>それから3点目になりますかね。3点目としては、私自身も気が付いたのは、特に中学生版のほうでは保護者と一緒にいろいろなものを確認していくと。小学生の上学年もそうになっていますけれども、保護者と家族も一緒になって考えるという部分を取り込まれているので、是非これは家族でといいますか、保護者の方も含めて活用していただける方向にいてくれればいい。保護者の方へもPRしながら、そのように思いました。</p> <p>そして特に中学生のほうでは、災害用伝言ダイヤルの利用方法とか、これなど私はこれを見て初めてわかったのですが、このようなものなども家庭の方と一緒に使っていただくということで、どんどん利用していただければいいと思いました。感想です。</p>
築瀬委員長	<p>ありがとうございました。岡本委員。行事予定、事業予定についてありましたら。</p>
岡本委員	<p>社会教育課の8ページの3番の家庭教育に関する(2)の家庭教育支援基盤形成事業というものはどういうことでしょうか、すみません。</p>

田中社会教育課長	<p>これは平成 11 年から国が家庭教育に関していろいろやっていったものです。八戸市では平成 20 年から今のような形でやっております。具体的には、現在は城北小学校にコーディネーターを 4 名配置しまして、小学校に部屋を借りておりますが、小学校の生徒児童だけではなくて、入学前の子供たちの話とか、中学生の不登校の話とか、広く相談に乗っていらっしゃいます。20 年に立ち上がった当初は三条小学校もやっていたのですが、そちらは昨年で必要なくなったということでやめられました。今は城北小学校がやられていまして、立ち上げのときは市内の先生方に相談をして、モデル校はどこがいいかという相談をして三条と城北の 2 校を選んだと伺っています。当初は委託事業でしたので、非常に潤沢な予算で置いていたようです。携帯電話の料金も出してもらっていたようですが、現在は年間 3 校一人 3 万円しかお支払できていないのですが、それで週 1 回学校のほうに集っているような相談事に乗られているようです。簡単ですが、以上です。</p>
岡本委員	<p>そうしますと、それは城北さんが独自に手を挙げてやられていると理解してよろしいですか。</p>
田中社会教育課長	<p>はい、そうです。毎年城北小学校の校長先生、教頭先生とコーディネーターの方に来年もお願いしたいか伺っており、引き受けていただけますかということを確認して続けていただいております。先ほど申しましたように、三条小学校は途中でもう必要がなくなったということで、いろいろな事情があったと思いますが継続しないでおられて、現在は城北小学校 1 校だけです。</p>
岡本委員	<p>そうすると、これは広く城北のエリアだけではなくて、市内全域の家庭に対する教育相談ということで受け止めてよろしいのでしょうか。</p>
田中社会教育課	<p>現在は城北の近くの日計というか、やはり 4 人なので近くのエリアまでしか手が回らないようです。ここで言うのもあれなのですが。</p>
岡本委員	<p>差支えない程度で大丈夫です。</p>
田中社会教育課長	<p>社会教育課とすれば、この家庭教育の事業はとても大事な事業だと思っております。今年度 1 年をかけてこども支援センターと相談をしてどのようなことができるか、必要なか必要でないのかを含めて協議をさせていただきたいと思っておりました。以上です。</p>
岡本委員	<p>そう考えていただいているのであれば嬉しいということは、名称もそうですけ</p>

	<p>れども、家庭教育の支援の基盤を形成するということはどういうことかと読んだときからずっと思っていました。子育て支援コーディネーターの役割もですけれども、今まさにこども支援センターと何か連携することができれば、一緒になったほうがより良くお金を活かすことができるかもしれないということです。わかりました、すいません。事前に私もお聞きしたいと思っておりましたけれども、家庭教育の基盤を形成するということの意味合いと、この事業が立ち上がった経緯ももう1度精査していただきながら、支援センターとの連携をしたほうがよろしいのではないかと、今の課長のご意見でそうなればよいと思っております。ありがとうございます。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>はい、ありがとうございました。他によろしいですか。</p>
<p>大庭委員</p>	<p>すいません。これは質問とかではなくて、要望といえますか、お願いということです。5ページのところの教育指導課関係で、いろいろ事業が紹介されています。この中で特に私が思ったのは5ページの9番マイブックスの推進事業、それから10番の教育施策市民啓発事業、この2点です。昨年度スタートして、これまでもいろいろ課題、あるいはその課題への対応策等も説明していただきました。それらのものを含めて是非この9番、10番、今年度も充実した形で、生徒もそうですけれども、それと保護者、そして市民の方に発信していただいて、是非充実した事業に発展させていただければと思っております。以上です。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>最後に私からですけれども、先ほど電話とか来所の相談件数が非常に多くなっているということでした。6ページの青少年グループのスクールカウンセラー配置事業のところでも、そういう現実に対応した手立てが打たれているということを感じました。つまり、中学校の派遣校は湊中学校と下長中学校の2校が今年度増えたわけですね。それからカウンセラーも二人増えているということで、手厚いカウンセリングが、学校の教員もそうでしょうし、子どもたちの悩みに答えるような手立てが打たれてきているということは非常にありがたいことだと思って見ていました。担当のほうからでもいいのですが、これはやはり実情を考えたもので、湊中学校、下長中学校を決めたのでしょうか。それとも希望の中からということですか。</p>
<p>沼館教育指導課指導主事</p>	<p>スクールカウンセラーはまず県の事業でありまして、そちらのほうから八戸市の枠が広がるというお知らせを受けました。毎年学校にはスクールカウンセラーの希望ということを取るのですが、本当に多いわけです。あとは実情とか、子どもたちの様子とか、さまざまなものを加味しまして、下長中学校、湊中学校に今回配置したということになります。以上になります。</p>

<p>築瀬委員長</p>	<p>ありがとうございました。要は配置を希望する学校はまだまだあるということですね。</p>
<p>沼館教育指導課指導主事</p>	<p>はい。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>先ほどのところで述べましたけれども、是非そういったところに心を砕いていただいて、いろんな悲劇が起きていますけれども、そういったことの未然防止ということも含めて頑張る。やはり県へ上げる場合でも、こんなに学校で困っているとか、実態をきちっと話をして、そういった努力も必要かと思うので、これからもよろしく願いいたします。</p> <p>それでは業務報告、事業予定については終わりたいと思います。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>次に「平成 27 年度マイブック推進事業について」事務局から説明をお願いします。</p> <p>(資料「平成 27 年度マイブック推進事業について」に基づき説明)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いします。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>私からですけれども、私は昨年度のこの定例会で5回くらいずっとテーマにして取り上げてきました。私の意見というよりは、書店、保護者の意見を取り入れた改善点が具体的に出されていて、とてもありがたいと思っていました。ここにある変更点というものは非常に謙虚な立場で、そういう市民、保護者、先生方、あるいは書店の生の声、そういったものを聞きながら改善しているということで、とても良いと思っていました。これからは是非、良い事業なので、継続してみんなが喜ぶような事業にしてほしいと思っています。市内の小学校のPTAの広報にも、このマイブッククーポン推進事業については非常に良いことだという効果が多く載せられているので、期待している保護者も多いのではないかと見ていたので、よろしく願いしたいと思います。</p> <p>1点質問なのですが、このブックリスト、推薦図書という名称から変わったのは非常に良いことだと思うのですが、ここに示されている3枚目のブックガイドというものは、これはそのまま渡るのですか。もう渡ったのであればいいのですが、コメントが家庭で本の話をしよう、だけなので、例えばこのリストはあくまでも参考です。子どもが読みたい本をおうちの人と一緒にという、去年のようなコメントがあれば良かったと思ったのですが、ない代わりに何か説明したのでし</p>

<p>佐々木教育指導課指導主事</p>	<p>ようか。</p> <p>教育指導課の佐々木です。今年度もよろしくお願いいいたします。まず家庭で本の話をしよというこ、これはマイブック推進事業のキャッチフレーズのようなものとして使っていて、あくまでもガイドなのでということ、昨年度のような断り書きは敢えて今年度外しました。今度の 30 日に学校図書館担当者の研修会がございますので、そこで先生方には下ろしていきたいと思っております。書店にもそのように伝えてあります。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>ありがとうございます。やはり推薦図書ではなくなって、ブックガイドになったのはどうしてですかとか、そういった担当者の中で質問が出たり、そういうこともあると思うので、そういった趣旨をとらえながら補足説明をしていただければ。また同じ、これにとられるのですかということになってしまうので、その辺の付加説明も必要かと思っておりました。</p> <p>ついでに最後に一つです。この変更点の中にはないのですが、私が今日知ったのは保護者向けのちらしがありますよね。3枚組の保護者向けのちらしがあるのですが、そこで私が昨年も話したのですが、使用にあたってのお願いのところは昨年は学校での読書の時間に適した本をという限定された言い回しだったので、そこを少しお話ししたのです。今年度は学校や家庭での読書活動というように、家庭もきちんと入っているということで反発はないだろうと思っています。次の文言を工夫して、去年はお子さんが読みたい本と一緒に探してあげてくださいという言い方だったと思うのですが、今回は宝物をという夢があるような、そういう工夫がされていて、とても良いと思っておりました。感想です。是非頑張ってほしいと思います。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>それではよろしいですか。</p> <p>次に「平成 27 年度八戸市青少年海外派遣事業について」事務局からの説明をお願いします。</p> <p>(資料「平成 27 年度八戸市青少年海外派遣事業について」に基づいて説明)</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いします。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>無いようですので次に、「平成 27 年度広域的体験学習支援事業について」事務局からの説明をお願いします。</p> <p>(資料「平成 27 年度広域的体験学習支援事業について」に基づき説明)</p>

<p>築瀬委員長</p>	<p>ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いします。</p>
<p>武輪委員</p>	<p>大変ありがたい事業だと思っております。質問させていただきたいと思いますが、これはあくまでも体験学習の目的もありますが、この施設を活用した体験学習を行うことを前提にしているものですので、例えば施設の見学はこの対象にはならないということの認識でよろしいでしょうか。3番の活動例がありますが、是川縄文館を活用した土器づくり等の体験学習は対象になるけれども、是川縄文館に行って施設の見学は対象にならないという理解でよろしいのでしょうか。</p>
<p>木村教育指導課長</p>	<p>この目的は体験学習となっておりますが、実際は今までも、小学校は遠足等も含めて社会科見学というようにいろんな施設を見学して回ることもあって、それがその後のこの授業に移ってきていることもあります。今年度は初めてのことでそれにも対応し、見学活動を進める中でこの施設であればこんな体験をしたいということを学校から上がってくると思いますので、校長会、教頭会、教務審議会を通して意見を吸い上げ、各施設に対して今度は学校からこういう体験学習の要望等がきていますが、こんなプログラムは可能ですかと打診をし、今年度中にまたいろいろ考えて、来年度はできるだけこの豊かな体験学習に結び付くようにと考えています。今度は見学もあります。</p>
<p>武輪委員</p>	<p>わかりました。私が聞いた話だと、学校によっては体験をしないので、見学なのでこの対象にならないのではないかと思っている学校も実際あるようです。初めての事業なので、そのところを十分に学校側にわかりやすいように、お話をもう1度していただければいいのではないかと考えていました。実際に細かいことではあるのですが、バスを利用するにあたって、やはり午前中だけ利用する場合、そして1日、午前から午後にかけて利用をする場合ではバスの料金も変わってくると思うのです。できるだけ有効に活用していただくには、社会科見学のようにお弁当を持って1日かけていろいろなところを回ることに使っていただければいいかと思うのです。その中では見学、社会科見学だと体験ではなく見学だけなので、これに当てはまらないだろうと思っている学校もあるようなので、是非もう1度話をしていただければと思います。</p>
<p>木村教育指導課長</p>	<p>そこも少し考えていましたので、今後行われる教務審議会がありますので、そこでもう1度各学校、ほとんど希望しているのですが、希望しない学校につきましても改めて確認するところです。</p>
<p>築瀬委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。他によろしいですか。</p>

大庭委員	<p>4番の(2)でバス会社の決定とありまして、5社に決定と。この5社ということは市のほうで指定したバス会社というニュアンスでいいのですよね。そして5番の(1)で各校においてバスの予約。したがって指定した5社の中であれば、各校の実情に応じてバス会社と直接連絡を取るということでいいわけですよね。</p>
木村教育指導課長	<p>はい、そうです。</p>
大庭委員	<p>今この質問をしたのは、高校の話ですみません。法改正か何かの影響だったらいいのですけれども、例えばある学校が1社と年間契約して何回まで、あるいは距離数等に応じて契約して、そして比較的安く運行してもらっていたと。ところがそれがまかりならないということになりまして、各学校、ひいては保護者の負担が増えてくるという状況があります。これは全部市のほうで費用は持つので、学校が負担するわけではないのでいいのですけれども、確認のために聞いていました。各学校が指定した業者と直接交渉、費用はこちらということでもいいのですよね。はい、わかりました。</p>
築瀬委員長	<p>次に、「平成27年度八戸市民大学講座(前期)について」事務局からの説明をお願いします。</p> <p>(資料「平成27年度八戸市民大学講座(前期)について」に基づいて説明)</p>
築瀬委員長	<p>ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いします。</p>
築瀬委員長	<p>無いようですので次に、「歴史資料グループの事業について」事務局からの説明をお願いします。</p> <p>(資料「歴史資料グループの事業について」に基づいて説明)</p>
築瀬委員長	<p>ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いします。</p>
大庭委員	<p>丸の二つ目のところなのですが、以前問題になりました古文書の所在不明ということに対応する、具体的な改善策としてここ示されているのだと思います。いわゆる歴史資料グループへ管理を移管するとか、あるいは下から二つ目の丸で示されているように、1人体制から2人体制、そしてそこに歴史資料グループから1名入るということで、改善策としての具体策がこのような形で示されているのだと解釈しています。こういう形を充実させた形で今後も点検、あるいは管理と</p>

築瀬委員長	いうところに努めていただければありがたいと思います。
築瀬委員長	そのほか、事務局から報告事項はありますか。
築瀬委員長	<p>事務局からは以上のようなようです。</p> <p>それでは最後に「その他」ですが、委員の皆様方から何かございますか。</p> <p>それでは、これもちまして平成 27 年 4 月の教育委員会定例会を終了いたします。</p> <p style="text-align: right;">(午後 4 時 28 分終了)</p>